

平成 31 年度 家庭科

教科	家庭科	科目	家庭基礎	単位数	2 単位	年次	1 年次
使用教科書	未来をつくる 新高校家庭基礎 (大修館書店)						
副教材等							

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

家庭生活に関心を持ち、積極的に取り組みましょう。

- ・生活の様々な現象や課題をワークショップや演習を通して考え、理解を深め、知識を身につけます。
- ・実践的、体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身につけます。
- ・学んだことを自分の生活のなかで実践し、よりよい生活を目指します。

2 学習の到達目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技能を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観 点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて関心を持ち、その充実向上を目指して主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などについて課題を見いだし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し、工夫し創造する能力を身につけている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な技術を身につけている。	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識を身につけている。
評 価 方 法	学習状況の観察 ノート、ワークシートの記述 調理計画、製作計画、実習記録表 レポート、発表 自己評価 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画、製作計画、実習記録表 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 製作品 レポート、発表 定期考査、実技テストの結果 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 調理計画、製作計画、実習記録表 レポート、発表 定期考査の結果 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に 5 段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	人の一生と青年期の課題をみつめよう	○人は生涯を通して発達し続ける ○青年期を生きる ○自立の達成をめざそう ○ライフスタイルを設計しよう	○			○	a: 生涯発達の考え方に立ち、各ライフステージの特徴と課題に関心を持ち、青年期の課題について具体的に考えようとしている。 b: 自分を見つめ、肯定的な自己概念を持ち、自分の人生や進路について考えを深め、具体的にまとめている。 c: 家族や家庭生活の在り方などについて検討するために、新聞や書籍などから必要な資料を収集したり、調査したりすることができる。 d: 自分らしく生きるために目標を持ち、生活課題に対応した意思決定を自分で行うことの大切さや考え方を理解している。	授業観察 ノート、ワークシート 実習レポート 定期考査
	経済生活を設計しよう	○現代の消費生活 ○消費者問題について知る ○多様化する消費者問題 ○消費者を救済する制度 ○主体的な消費行動をめざして ○家計と経済のしくみとかかわち	○	○	○	○	a: 生涯を見通した生活における経済計画について関心を持ち、自立した消費者として行動しようとしている。 b: 多発する消費者問題について、その原因と対策について具体的な事例を通して考え、まとめたり、発表したりしている。 消費行動と環境との関わりについて、自身の生活と関連させて課題を見い出し、生活の質を向上させるためにはどのような消費生活を築けばよいかを考え、工夫している。 c: 家庭の経済生活の諸課題の具体的な事例を収集・整理したり、生涯を見通した経済計画を立てたりすることができる。 d: 消費者問題の現状や消費者の権利と責任について理解している。 消費行動における意思決定の重要性を理解している。	授業観察 ノート、ワークシート 実習レポート 定期考査

	健康で快適な衣生活をつくろう	<p>○なぜ着るのか</p> <p>○着ごちのよい被服</p> <p>○衣生活の計画を立てる</p> <p>○気持ちよく着る工夫をする</p> <p>○環境に配慮した衣生活をつくる</p>	○	○	○	○	<p>a:衣生活に関心を持ち、人間と被服、気候と被服の関わりを考えようとしている。</p> <p>b:各ライフステージに適した衣服の役割、適切な着装、衣生活の管理について考えを深めている。</p> <p>c:健康と安全に配慮した被服計画を立てることができる。</p> <p>d:着装、被服材料、被服製作、被服管理などについて理解している。</p>	<p>授業観察</p> <p>ノート、ワークシート</p> <p>実習レポート</p> <p>実習計画</p> <p>作品提出</p> <p>定期考査</p>
2学期	生涯の健康を見通した食生活をつくろう	<p>○なぜ食べるのか</p> <p>○私たちは何を食べてきたか</p> <p>○栄養素の働きと食品</p> <p>○食の安全・安心を考える</p> <p>○何をどれだけ食べればよいか</p> <p>○献立と調理</p>	○	○	○	○	<p>a:自分や家族の食生活に関心を持ち、食生活と健康の関わりを考え、意欲的に食生活の改善・向上に努めようとしている。</p> <p>b:現代の食生活と食事の意義について思考を深めている。栄養と健康な食生活の関わりについて考えている。</p> <p>c:栄養、食品、調理に関する基礎的な知識を生かして、ライフステージの異なる家族に合わせて、適切な献立作成ができる。食生活をよりよくするための調理に関する基礎的・基本的な技術を身につけている。</p> <p>d:栄養、食品、調理及び食品衛生など、食事と健康との関わりについて、理解している。調理実習を通して、食生活の自立に必要な知識を身につけている。</p>	<p>授業観察</p> <p>ノート、ワークシート</p> <p>実習レポート</p> <p>実習計画</p> <p>定期考査</p>
	安全で快適な住生活をつくろう	<p>○なぜ住まうのか</p> <p>○住む人の生活に合った住空間とは</p> <p>○健康・安全な住生活をつくる</p> <p>○持続可能な住環境と地域社会</p>	○	○	○	○	<p>a:生涯を見通して、住居の機能や住空間の計画などについて関心を持ち、よりよい住生活について考えようとしている。</p> <p>b:ライフスタイルや価値観に応じた、生命と健康を守るための暮らしの在り方について考え、工夫している。</p> <p>c:家族構成やライフステージ、生活価値観に応じた住空間の計画ができる。</p> <p>d:安全と環境に配慮した住環境や現代の住生活の課題を認識し、その知識を身につけている</p>	<p>授業観察</p> <p>ノート、ワークシート</p> <p>実習レポート</p> <p>定期考査</p>

	家族・家庭と社会について考えよう	<p>○家族について考える</p> <p>○家族・家庭の機能を知る</p> <p>○家族・家庭の法律を知る</p> <p>○家庭と社会の関係について考える</p>	○	○	○	○	<p>a:現代の家族の特徴に関心を持ち、これからの家族のありかたや社会とのかかわりについて考えようとしている。</p> <p>b:家庭生活を支える法律や社会制度について考え、まとめている。</p> <p>c:家族や家庭生活の在り方などについて検討するために、新聞や書籍などから必要な資料を収集したり、調査したりすることができる。</p> <p>d:現代の家族の特徴や家族・家庭に関する法律について理解している。</p>	<p>授業観察</p> <p>ノート、ワークシート</p> <p>実習レポート</p> <p>定期考査</p>
	生活をデザインしよう	<p>ホームプロジェクトおよび学校家庭クラブ活動の意義や方法</p>	○	○	○	○	<p>a:家庭科の学習の発展として「ホームプロジェクト」と「スクールプロジェクト」について関心をもち、意欲をもって学習活動に取り組んでいる。</p> <p>b:生活のなかから課題を見出し、課題解決にむけて思考を深め、適切に判断している。</p> <p>c:目標を明確にし、計画を立てて実践できる。</p> <p>d:「ホームプロジェクト」と「スクールプロジェクト」の意義と実施方法について理解している。</p>	<p>授業観察</p> <p>ノート、ワークシート</p>
冬休み		<p>○ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の実践</p>	○	○	○	○	<p>a:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動について関心をもち、主体的に学習に取り組もうとしている。</p> <p>b:生活上の課題を見だし、その解決をめざして科学的に探究し、表現している。</p> <p>c:計画に沿ってホームプロジェクトや学校家庭クラブ活動を実践することができる。</p> <p>d:ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動の実践に必要な知識を身に付けている。</p>	<p>レポート</p> <p>発表</p> <p>自己評価</p> <p>相互評価</p>

3学期	子どもと子育てについて知ろう	<input type="radio"/> 子どもと子育て <input type="radio"/> 子どもの誕生 <input type="radio"/> 乳幼児期の体、心の成長・発達 <input type="radio"/> 子どもの生活と保育 <input type="radio"/> 子どもの生活と遊び <input type="radio"/> 子どもの健康と安全 <input type="radio"/> 子育てを支援する	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>a: 子どもの心身の発達について関心を持ち、家族の果たす役割を考えようとしている。</p> <p>b: 子どもを取り巻く環境の変化と子どもを生み育てることの意義、社会・地域・親の果たす役割について考え、課題を見出し、まとめている。</p> <p>c: 子どもの生活や子どもを取り巻く環境、子育てにおける課題などについて、情報を収集したり、調査することができる。</p> <p>d: 子どもの心身の発達や生活と環境との関わりについて、家族および地域や社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身につけている。</p>	授業観察 ノート、ワークシート 実習レポート 実習計画 作品提出 定期考査
	高齢者の生活と福祉について考えよう	<input type="radio"/> 高齢期という時期 <input type="radio"/> 高齢期の生活について知る <input type="radio"/> 高齢期の生活を支える高齢者福祉 <input type="radio"/> 介護保険制度と介護への理解	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<p>a: 高齢社会の現状と課題、高齢者の心身の特徴や生活などについて関心を持ち、高齢者を肯定的に捉え、高齢期の生活について考えようとしている。</p> <p>b: 高齢者や高齢者を取り巻く社会について、具体的に課題を見出し、その解決を目指して思考を深め、まとめたり、発表したりしている。</p> <p>c: 地域の高齢者福祉サービスについて情報を収集したり、調査することができる。</p> <p>d: 高齢社会の現状と課題、高齢者の心身の特徴や生活について理解している。</p>	授業観察 ノート、ワークシート 実習レポート 定期考査

	共生社会をつくらう	○ともに生き、ともに自立する ○生活のセーフティネットワーク ○社会のセーフティネットワーク	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a: 共生社会に関心を持つとともに、社会の一員としての自覚を持ち、ボランティア活動や支え合う活動など、主体的に行動しようとしている b: 社会制度の理念と内容やボランティアの在り方について考えを深め、社会の一員として、共生社会を実現するために何ができるか考え、工夫している。 c: 共生社会の実現に向けて、自分のできることは何か、情報を収集・整理したり、実践に生かすなど、支え合う活動に必要な技術を身につけている d: 共生社会の重要性について理解している。	授業観察 ノート、ワークシート 実習レポート 定期考査
--	-----------	--	-------------	-------------	-------------	--	--------------------------------------

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
 c:技能 d:知識・理解

※ 年間指導計画（例）作成上の留意点

- ・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。